

化学品受託に引き合い

五興化成 次期設備投資も視野

森六グループの五興化成（福岡県大牟田市）では、生産キャパシティの逼迫に直撃する国内メーカーからの受託需要が増えている。化学品受託製造のニーズが高まるなか、隣接企業からユーザー向け供給を受ける立地の強みや危険物・毒劇物の取扱能力を生かし、一般業向け受託製造で実績を重ねてきた。2025年にはコンタミ防止のために乾燥機1基を新設棟へ移設。将来の増設スペースも確保した。今後は基盤が整ったインフラを強みに化学メーカーを開拓し、さらなる案件獲得を目指す。

近年、国内の化学業界において受託製造の需要が急速に高まっている。自社の生産キャパシティを超える規模の製造を外部へ委託したいというニーズがあり、毎月の定期案件からスポット案件まで引き合いが続いている。こうしたなか、五興化成は独自のインフラと技術力を生かして存在感を示している。同社は隣接する大正化学メーカーから蒸気などのユーティリティ供給を受けており、大量の排水を効率的に流せる高い排水処理能力を持つ。危険物第4類・第5類の倉庫を保有し、危険物や毒劇物の製造・取り扱いが可能な体制を整えている。国内でもサプライヤーが少なく対応企業に限られる希少な旨の受託製造も手がけ、とくに真素を用いた受託製造に対応できる点が強い。



3基目の乾燥設備導入も視野
（写真は真空ろ過乾燥機）

1年前に、老朽化した反応槽や乾燥設備の建て替えを実施。横並びで配置していた3基の乾燥機のうち1基を、新設した別の棟に移設した。異物混入のリスクを大幅に低減させることも、それぞれの設備で異なる製品の独立した受託製造を可能にした。将来的な需要拡大を見据え、3基目となる乾燥設備を導入するためのスペースも敷地内に確保しており、今後は市場の動向を見極めながら数年単位での設備投資も視野に入れる。

森六グループへの利益貢献も見込む。新規・既存ともに受託製造の案件が増加していることに加え、並行して進めた価格改定の効果で今期の業績に貢献する見通しだ。五興化成工業は、さらなる案件獲得に向けて化学メーカーを中心に積極的な営業活動を展開していく。